

第7回 夏井川流域 川ばた会議 を開催しました。

3月1日(土曜日) 約60名の方に参加していただき、第7回川ばた会議を開催しました。午前中の川ばた会議では、2年間の活動を振り返って、夏井川流域行動計画(夏井川アクションプラン 21)、平成20年度事業計画について説明を行い、ワークショップ形式で参加者の皆さんと意見交換を行いました。午後には長林久夫氏(日本大学工学部教授)より「中小河川の河口閉塞とその対策」と題して特別講演をしていただきました。その後、仁井田川と夏井川の河口に移動してそれぞれの河口の現地視察をし、河口閉塞の状況や四手網漁法を実際に見たり、水質調査をしました。

川ばた会議



これまでの活動について説明する福島県の鈴木さん(左)、「夏井川アクションプラン 21」を発表する橋本代表(中)、事業計画について説明する高橋副代表(右)

これまでの活動、これからの活動について話し合いました

グループからは、活動について上中下流の連携の継続や子供だけでなく皆が川に近づけるような取り組み、ゴミの清掃、捨てさせない活動について発表がありました。また水環境団体以外との連携や情報発信について提案がありました。

グループからは、皆で活動する(続ける)ことが大事であり、活動を通して流域内の資源を発見できてよかったと感想がありました。活動については、子供が親と一緒に参加できるような活動(川の魚を食べる)などの提案があり、これからも連携して「できることからやっていきましょう。」という提案がありました。

ワークショップ



グループ



グループ



グループ



グループ

各グループの発表



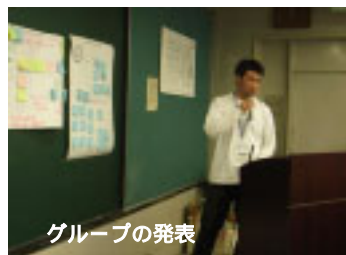
グループの発表



グループの発表



グループの発表



グループの発表

グループからは、ゴミの処理方法など情報共有の大切さについて、また活動については川と海をつなぐような活動などの発表がありました。

グループからは若い人が参加できるような環境づくりとして、活動の継続やフリーペーパーなど情報発信の工夫などについて発表がありました。

最後に橋本代表より、皆が流域内の情報を共有していくことが大事であり、皆が川に近づけるような取り組みや夏井川を客観的に見るうえでも水環境団体以外との活動の交流が必要であるとまとめていただきました。今回いただいた意見に関しては来年度の活動の参考にさせていただきたいと思います。

グループの発表: 福島県の鈴木さん(左上) グループの発表: 小野町の近野さん(右上)

グループの発表: いわき市の永井さん(左下) グループの発表: 日本大学の三浦さん(右下)

特別講演 「中小河川の河口閉塞とその対策」

夏井川の河口閉塞について学びました

午後は、日本大学工学部の長林教授より「中小河川の河口閉塞とその対策」と題して特別講演をしていただきました。現在、夏井川の河口が閉塞している（塞がっている）事に関して、なぜ河口閉塞してしまうのか、今後どのような対策を立てれば良いのか調査と実験の結果をふまえてわかりやすく説明していただきました。参加者からは、河口が塞がってしまう事の驚きと、河口が閉塞するメカニズムを学びました。



長林教授(上)
夏井川の河口閉塞の過程や、今後の良好な河口の維持に対する対策について講演していただきました(右上)
特別講演の様子(右下)



現地視察

実際に河口を見に行きました

特別講演の後、長林教授と共に新井田川、夏井川の河口に行き、現在の河口の状況を視察しました。仁井田川は(3月1日現在)良好な河口の状態であると長林教授より説明していただきました。その後、四手網漁の様子を実際に見せていただきましたが日中ということもあり網にかかる魚はいませんでした。その後、夏井川の河口に向かい河口閉塞の状況を視察しました。この日も夏井川の河口は閉塞しており、河口は砂丘のような丘で塞がっていました。また、強風により予定していたゴムボートでの河口調査は中止としました。またの機会に企画したいと思います。



現地視察の様子:仁井田川河口(左上)、四手網漁(右上)
夏井川の河口閉塞の状況(左下)水質調査(右下)

2008.03.01(夏井川河口にて)



夏井川流域の会は「森・川・海の笑顔の見える流域」を目指して、
今後も活動を続けていきます！！

発行:平成19年3月
夏井川流域の会